

第 6 号

2013 年 7 月 26 日
(平成 25 年 7 月 26 日)

ソムリエの風

特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会会報紙

発行 特定非営利活動法人
奈良まほろばソムリエの会
広報グループ
〒630-8333 奈良市中新屋町
23 番地 中江ビル 302 号室
あすなろ行政書士事務所内

奈良まほろばソムリエの会発足祝賀会開催

奈良まほろばソムリエの会は平成 25 年 2 月 1 日付けで NPO 法人の認証を受け、これを記念して、法人設立祝賀パーティーをさる 5 月 5 日に奈良ロイヤルホテルで挙行了しました。

奈良県、奈良市をはじめ各界の代表や会員 100 名が出席し、法人化を盛大に祝いました。

午後 4 時に開会。理事長挨拶の後、奈良市長・仲川げん氏、奈良県観光局長・久保田幸治氏、奈良交通代表取締役社長・谷口宗男氏の各位からの祝辞を頂きました。



小北理事長挨拶

また来賓として、奈良県観光ボランティアガイド連絡会会長・木村三彦氏、奈良女子大学名誉教授・坂本信幸氏、NHK奈良放送局放送部長・田村在也氏、奈良新聞社企画部次長・森田育浩氏、奈良県ならの魅力創造課課長・谷垣裕子氏、奈良市観光振興課課長・尾崎勝彦氏、株式会社ワイズスタッフ・藤本里沙氏にもご臨席いただきました。



来賓の方々

来賓紹介の後、木村三彦氏の発声で乾杯を行い宴会に入りました。パーティー会場となったロイヤルホテルの豪華絢爛な雰囲気は、誠に発足祝賀会に相応しいものでした。

パーティーの途中では会員を代表して、辰馬真知子さんから会員としての決意の表明があり、ご自身の活動を紹介し、積極的な活動参加を呼びかけるなど私たちの今後の活動にも意を新たにさせる熱のこもった発言でした。

笑顔と笑顔で会員同士の親交も一層深まり、予定した時間はあっという間に過ぎ、北田副理事長の閉会の挨拶と一本締めにより午後 5 時半に閉会となりました。

この祝賀会の模様はその日のうちに奈良テレビで紹介され、翌日の新聞にも掲載されました。

私たち奈良まほろばソムリエの会はこの祝賀会を機に、これまでの活動の成果にさらに磨きをかけると共に、法人格を持った組織として常に社会的責務を意識しなければならないと考えます。

当会は NPO 法人として社会貢献活動を大きな目的としていますが、今年度からはこれまでの観光ガイドや地域での講座活動を強化すると共に、歴史遺産の保存継承や文化観光の啓発、さらには調査研究などの活動を新たに行います。

ご来賓のご挨拶にもありましたように、「奈良県の魅力の発信と奈良ファンの拡大」に大きな期待が寄せられています。そのことを念頭に置き、この会を益々発展させていきたいと思ひます。

(NPO 法人

奈良まほろばソムリエの会

理事長 小北 博孝)



会員の皆さま

新グループ活動紹介

■保存継承グループ

6月8日（土）に第1回の打合せを行い、活動が始まりました。奈良県には有形、無形の文化財が数多くありますが、その中には保存状態や継承に課題があるものもあります。昨年で中止することとなった「大柳生の太鼓踊り」は、踊りの担い手である若者の確保ができれば継承できるかもしれません。また、山間部のお寺・神社・民家等には貴重な文化財がありますが、管理者の確保が困難で、結果的には無住となり、拝観どころか盗難や破壊の心配が生じているところもあります。このような文化財を未来に残していくための解決策を検討し、現地にも足を運び、関係者とも協力し、それが実現できることを目指して活動していくことを確かめあいま

した。我々自身も楽しんで進めていきたいと思います。

さて、今回は東吉野地方に伝わる、「そでいか」を紹介いたします。東吉野村の平成21年6月1日付けの「広報ひがしよしの」によれば、「そでいか」とは同村大豆生（まめお）地区を中心に、江戸時代から伝わる風で、一説には、戦国時代に武将が戦功のあった土地の豪族に対し、その恩賞として供した旗指物であったと述べられています。



そでいか

大豆生出身の上井利平さんがそでいか最後の伝統技術の保持者でしたが、残念ながら、昨年他界されました。幸いなことに、奈良市在住の福本行良さんを中心とした「吉野そでいか保存会」が、平城宮跡等で保存・伝承活動に取り組んでいます。私共は、吉野の風は、吉野の子供が、吉野の空に揚げるのが望ましいのではないかと考え、6月6日（木）、地元出身の前防さんの案内で、小北さん、亀田さん、鈴木さんの4名で東吉野村を訪れ、教育委員会の阪本教育長、丸山次長と面会し、東吉野小学校の課外授業に「風作り」を取り入れて欲しい旨、申し入れしました。今後の展開が楽しみです。最後に、今回活動の起点は、会員さんからの情報提供でした。有難う御座いました。（鈴木 英一）

■啓発グループ

今回のNPO法人化に伴い、奈良の歴史・文化・観光に関する調査・研究・啓発と、奈良検定受験者の支援を目的として「啓発グループ」が発足しました。愛称を「奈良文化発信隊」とし、今後楽しい企画をする会として活動してまいります。

今も「啓発グループってどういう活動をするの?」「交流グループとどこが違うの?」というご質問をいただきます。啓発グループは、相互研鑽を積むことにより、将来的には講演会の講師をしたり、本を出版したり、という「情報の発信者」としての活動を想定しています。

初の事業として、旧友の会事務局より引き継いだ「自主勉強会」の「奈良の食」勉強会を企画し、平成25年4月～6月にかけて3回、開催しました。講師は食品開発コンサルタントでNPO法人「奈良の食文化研究会」の山根清孝氏でした。

6月29日（土）には、打上げをかねて奈良町の「旬彩ひより」で講師を囲んだ食事会を開催し、美味しい大和野菜を使った料理をたくさんいただきました。

今後は木村三彦氏による記紀に関するお話や、浅田隆氏による会津八一のお話などを予定していますので、たくさんの方のご参加をお待ちしています。



「旬彩ひより」での食事会

当グループでは勉強会以外にも、一般募集による「奈良検定必勝講座」（クラブツーリズム奈良との連携企画）、当会会員が講師となって講話をする「研究発表会」などの開催を予定しています。会員の皆様方のご支援、ご協力よろしく申し上げます。

（大山 恵功）

会員紹介

■親子ソムリエ

前年に母が、そして今年私が合格し、足かけ6年、親子で奈良まほろばソムリエとなりました。合格を母に報告したときに「親子でソムリエって他にもおるんやらか？」みたいな会話をしたような気がします。まさか自分たちが親子ソムリエ第1号になるとは。

きっかけは私が母に奈良まほろばソムリエ検定を勧めてみたことでした。私は奈良市内のホテルに勤務しており、社長が奈良検定の立ち上げに深く関わっていたこともあってスタッフ全員2級取得義務が課されていたのです。元来好奇心が旺盛でイベント好きの母は思った通り乗ってきました。



小出春美さん、貫さん

仕事もあり別々に暮らしているのですが一緒に勉強する機会はなかったので、お互いの存在はそれぞれに励みに思っていました。母はコツコツ勉強し、特に公民館の講座や認定セミナーが役に立ったと言っていますし、私は職業柄、観光やイベントの情報が入手しやすいことや、県内各地に出かけてホテルのブログにアッ

プするという仕事があり、お互いの情報交換が合格の力となってくれました。

最近よくこんな会話をします。「今まではソムリエになるための勉強で、それも大変やったけどソムリエになってからの勉強の方がもっと大変やなあ。」と。お互いに奥深い奈良の魅力をもっと体験し、親子共々楽しみをさらに深めていければと思っています。

第2第3の親子ソムリエが出ることを心から祈っています。そして我が家は、三代のソムリエを目指して。母には、いつまでも元気で長生きしてもらいたいものです。

(小出 貫)

■二人で一人前

夫婦で奈良まほろばソムリエ検定の最上位級に合格して、早いもので、もう3年が過ぎました。まだ、次の方が現れていないと知り驚いています。多くの方と同じように、定年後どのように過ごそうかと考えていた時に、奈良通の検定試験があることを知り、さっそく二人で挑戦することにしました。それ以来、色々なガイドツアーに参加したり講演会にも出席し、試験が近づくとお互いの弱点を補い、問題を出し合いながら頑張りました。生まれてからずっと奈良に住んでいる相方と、結婚後奈良に移り住んだ私との差で、相方の方が一足早くソムリエに

なりました(悔しいのでそのように言うことにしています)。



木原 明彦さん、良子さん

資格取得の後、二人揃ってこの趣味を生かし観光ボランティアガイド活動をしています。二人が同じ趣味というのは良いことで、テレビの番組を見ている、新聞を読んでも話題にこと欠きません。夫婦の会話も増えたように思っています。また老年になり物忘れの

多くなった今日この頃ですが、「あれ何だったかな？」と言えば、すぐ答えてくれる相棒が隣にいると何かと便利です。いつでも自慢話や失敗話を聞いてもらえるし、問題点を相談し合うこともできます。

何事にもすぐに飛びつき、広く(浅く)知識を得たいという相方と、とっつきは悪いのですが興味を持つと深く追求したいという私と、二人の性格はかなり異なりますが、これからも「二人で一人前」という気持ちで頑張ろうと思っています。私達のように夫婦で検定試験に挑戦する方が多くなり、第二の人生を楽しいものとする方が増えることを願っています。

(木原 明彦)

最近の活動状況

■奈良交通の犬養万葉ツアー



犬養万葉ツアーをガイドする
露木基勝さんと亀田幸英さん（4/29）

本年4月、犬養節で『万葉集』を朗唱しながら県下の万葉ゆかりの地をめぐる「歌って巡ろう！大和

路・万葉の旅」バスツアーがスタート。4月には「明日香コース」、6月には「初瀬・桜井コース」を実施し、9月14日（土）と23日（祝）には「宇陀コース」を実施する予定です。皆さんも、ぜひお友達を誘ってご参加ください。

■JTBのバスツアー

JTBで宿泊を予約された方限定の特典ツアー「奈良まほろばソムリエ号」が4月から運行を開始しています。12月からはこれに加え、京都発着の「奈良の世界遺産

巡り観光バス」もスタートする予定です。

■奈良まほろば館での連続講座

本年10月からは東京・日本橋の「奈良まほろば館」で、「まほろばソムリエの深イイ奈良講座」という90分の講話を隔月で開催します。10月は天誅組（鉄田専務理事）、12月は平城山（鈴木浩理事）、2月は奈良の旅（安井理事）をテーマとして進めています。

（専務理事 鉄田 憲男）



<編集後記>

NPO 法人となり5か月以上が経ちました。新たな活動も動き出し、活動の幅も広がってきました。次号以降でも活動を紹介していきますので、ご期待ください。

次号以降の記事として、「それぞれの『万葉集』」と題した原稿を募集します。600字程度の文章と写真1枚をメールまたは郵便にて送付ください。

編集に当たった広報グループメンバーは以下のとおりです。（あいうえお順）

窪田・小林（誠）・雑賀・沢田・豊田（敏）・辰馬・鉄田・永井・中村・橋口・廣岡・二上・古川・松森・米山



特定非営利活動法人 奈良まほろばソムリエの会

事務所所在地：〒630-8333 奈良市中新屋町23番地 中江ビル302号室

あすなろ行政書士事務所内

ホームページ：<http://stomo.jp/>

メールアドレス：info@stomo.jp

つれづれ日記（ブログ）：<http://nara-stomo.seesaa.net/>



HPのQRコード

観光関連の方へ

奈良の観光案内には
奈良の今を伝える、観光サイト



<http://www.ima-nara.jp/>
をご活用ください！

奈良まほろばソムリエの会
会員様も「豆知識」コラム執筆中！

Facebookをお使いの方へ

奈良のイベント情報は
「奈良へ行こう! Let's Visit Nara」
<https://www.facebook.com/visit.nara>
をご覧ください。



ぜひ いいね！ を
押してください！

すでに8400人以上のFANがいる
人気Facebookページです！

企業の方へ

募集中

奈良を訪問中&
奈良が好きな人に向けて、
ダイレクトに広告しませんか。

お試し総合パック(1ヶ月)

通常 ~~60,000円~~ → 20,000円

- ・「今奈良.jp」全ページでの紹介
※バナー制作費用込です
- ・Facebookページでの紹介
※最低4000人に必ずお届けします

広告掲載の詳細お問い合わせ先は



株式会社ワイズスタッフ
<http://www.ysstaff.co.jp/>

〒630-0244

奈良県生駒市東松ヶ丘2-1-202 (担当:藤本)
TEL 0743-74-2012 FAX 0743-74-2013

株式会社ワイズスタッフは奈良県委託事業
「奈良県就労困難者在宅就業支援事業」において
奈良まほろばソムリエの会と連携しています。